

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

|               |   |
|---------------|---|
| 1 実践テーマ       | 【 II・III・IV 】   |
| 2 実施対象者       | 境町立長田小学校 全児童 261名<br>保護者（演奏会 30名）<br>（アルゼンチンの日の集い 370名）<br>（サッカー 15名）<br>地域の方（アルゼンチンの日の集い 30名）  |
| 3 展開の形式       | （1）学校における活動<br>① 教科名（ ）<br>② 行事名（ケーナ演奏会）<br>（アルゼンチンの日の集い・長田ふれあいフェスティバル）<br>③ その他（ ）<br>（2）地域における活動<br>① イベント名（日本アルゼンチン協会親善サッカーフェスティバル）<br>② その他（ ）  |
| 4 目標<br>（ねらい） | アルゼンチン大使館やアルゼンチン協会の方々との交流を通して、アルゼンチンの文化・伝統・言語等への理解を深めるとともに、外国人の人々と意欲的に交流しようとする態度を育てる。   |
| 5 取組内容        | （1）ケーナ演奏会<br>アルゼンチン大使館の紹介によりケーナ演奏者を招いて演奏会を行った。当日はアルゼンチン人のケーナ奏者と日本人のギター奏者の演奏を全校児童で鑑賞し、中南米の楽器体験も行った。<br>○期 日 平成30年10月24日（水）<br>○内 容 フォルクローレ演奏会（ケーナ、シーク、チャランゴ演奏）<br><br>（2）アルゼンチンの日の集い・長田ふれあいフェスティバル<br>今年度で30回目を迎える「アルゼンチンの日の集い」だが、文化祭である「長田フェスティバル」と組み合わせて行っている。アルゼンチン大使や公使をはじめ、多くのアルゼンチン大使館関係者が来校した。<br>○期 日 平成30年10月27日（土） |

- 内 容 午前・・・体育館にて「アルゼンチンの日の集い」
- ・アルゼンチン大使や来賓の方々のお話
  - ・プレゼント贈呈（大使からもプレゼントがあった）
  - ・歌の贈り物と全校合唱
  - ・派遣事業の報告会 等々
- 給食・・・大使や参加者と4年生による交流給食  
午後・・・各教室で「長田ふれあいフェスティバル」
- ・各教室での催し物に大使も参加して児童と一緒に活動した。



### (3) 日本アルゼンチン協会親善サッカーフェスティバル

日亜協会主催で隔年で行われる大会である。アルゼンチン大使館や日本アルゼンチン協会と関わりのサッカーチームが参加をし、低学年の部、高学年の部、大人の部が行われる。

○期 日 平成30年10月28日（日）

○場 所 三菱養和サッカー場（東京都巣鴨）

○内 容 長田小学校、BOCAジュニアズ、オースティンSSの3チームが参加し、それぞれ低学年の部、高学年の部、大人の部に分かれ、リーグ戦方式で行われた。長田小では、数年前より長田小単独のサッカー少年団が無くなったため、児童と保護者に希望を募っての参加となった。アルゼンチン大使等も応援にみえ、楽しい交流会ができた。



## 6 主な成果

本校の児童は、長く続いているアルゼンチンとの交流を当たり前のものとして捉えており、また、誇りにも感じている。アルゼンチンとの交流の部屋や全校で練習しているアルゼンチンの歌『サンバ・デ・ミ・エスペランサ』、朝の放送でのスペイン語の挨拶などもあり、学校生活の一部となっている。今年度の取組も、国際交流の一端として児童たちの心に残るものとなった。さらにオリンピック・パラリンピックに向けてモチベーションを高め、ボランティアの心や国際理解の掲揚に努めていきたい。

## 7 実践において工夫した点（事業の特色）

### (1) 児童の主体的な活動の支援

- ・リーダーや係として活躍できる場の設定と事前指導の充実
- ・学級や学年、グループ単位での活動の工夫
- ・効率的な行事計画や実施計画の作成と改善

|              |  |
|--------------|--|
|              | <p>(2) 大使館や町，外部機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大使館職員（大使，公使，通訳）との連絡調整</li> <li>・町（町長，教育委員会）との連絡調整</li> <li>・外部機関（大使館，協会，講師）との連絡調整</li> <li>・保護者との連携（情報発信，PTAとの協力）</li> </ul>   |
| 8 主な課題等      | <p>(1) 学習効果を高めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的・効果的な行事計画，行事の精選</li> <li>・事前事後指導の充実と能率化</li> <li>・児童の意欲を高めるための手立て</li> </ul> <p>(2) 大使館や町，外部機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡や協議の手段や時間の確保</li> <li>・予定にない行事の依頼や変更に対する臨機応変な対応</li> <li>・勤務時間外の打合せや行事の対応等</li> </ul> |
| 9 来年度以降の実施予定 | <p>「アルゼンチンの日の集い・長田ふれあいフェスティバル」や「日本アルゼンチン協会親善サッカーフェスティバル」は，今後も継続して行われていく。一国の大使が一小学校と交流を続けていることは，特例的なことで，これからもこれらの行事を大切にしていきながら，異文化理解や国際教育の促進をしていくとともに，オリンピック・パラリンピック教育の実践を広げていく。また，2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは，アルゼンチンチームのキャンプ地に本町が候補となっており，ボランティア活動等国際交流を深める良い機会として本事業を生かしていきたい。</p>                         |